



令和6年8月30日

文部科学省の「高度医療人材養成拠点形成事業」に採択されました

<報道概要>

令和6年8月26日、文部科学省の「高度医療人材養成拠点形成事業－タイプB」に、徳島大学の下記事業が採択されました。同事業には、タイプA 臨床・基礎融合研究基盤人材養成拠点（80,000 千円）とタイプB 特色臨床研究基盤人材養成拠点（40,000 千円）があり、全国の大学から合わせて65件の応募がありました。本学が申請したタイプBには52件の応募があり、本学を含む30件が採択されました。

本事業において、徳島大学は、「難病・希少疾患部門」を新設し、世界レベルの臨床研究を推進するとともに、「難病・希少疾患クラスター」を新設し、臨床研究医の育成に取り組めます。

記

事業名：四国研究医型入試と Student Lab から始まるシームレスな研究教育環境を活かした難病・希少疾患研究医養成拠点の形成

補助期間：最大6年間

補助金基準額：【タイプB】40,000 千円程度（初年度・年間）（予定）

（参考）文部科学省ホームページ

「高度医療人材養成拠点形成事業（高度な臨床・研究能力を有する医師養成促進支援）」の選定結果

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryou/1387768_00008.htm

「高度医療人材養成拠点形成事業（高度な臨床・研究能力を有する医師養成促進支援）」選定状況一覧

https://www.mext.go.jp/content/20240826-mxt_igaku-000037375_1.pdf

※本件の詳細については、9月24日（火）開催予定の定例記者会見にてご説明させていただきます。

お問い合わせ先

蔵本事務部医学部総務課総務係

担当 有賀、山本

電話番号 088-633-9986／088-633-9117

メールアドレス isysoumu1k@tokushima-u.ac.jp

四国研究医型入試とStudent Labから始まるシームレスな研究教育環境を活かした 難病・希少疾患研究医養成拠点の形成

医師養成のシームレス教育環境

大学院医学研究科

教育クラスター；分野横断的な研究指導体制
脳科学クラスター、感染・免疫クラスター他、
全6クラスターで15年前から活動
難病・希少疾患クラスターを新設

研究指導
(屋根瓦式)

大学院生
(TA.RA)

学部

MD-PhDコース

診療参加型臨床実習(4~6年)
最先端臨床研究体験
臨床研究論文指導

学外医療機関
難病・希少疾患

研究室配属(3年)
9か月間の長期実習(十分な基礎研究指導)

**Student Lab
(1年~)**

事務職員：1名

四国研究医型入試

- ・ 2019年開始:定員8名/年
- ・ 基礎研究医に加え
臨床研究医の養成を目標とした研究医枠

推薦入試

前期入試

難病・希少疾患
研究医養成

卒後教育

大学院教育

臨床研究の推進

学部生教育

サポートスタッフ
による支援

組織改編

臨床研究の推進体制

医学部：各分野研究室

教員による学生の教育と
臨床研究の推進

病院：総合臨床研究センター

難病・希少疾患部門を新設

難病・希少疾患（難病告示番号）

- ・ 筋萎縮性側索硬化症（2）
- ・ 特発性間質性肺炎（85）
- ・ 肺動脈性肺高血圧症（86）
- ・ 遺伝性ジストニア（120）
- ・ 遺伝性自己炎症性疾患（325）

特任教員：1名
事務職員：1名

連携

事業協力機関：エーザイ株式会社
大鵬薬品工業株式会社、SANSHO株式会社
株式会社ティムス、株式会社免疫生物研究所
島津ダイアグノスティクス株式会社、Fujifilm
ノボノルディスク、株式会社イーベック
GEヘルスケア・ジャパン株式会社、武蔵医研株式会社
株式会社タカトリ、ビューティーライフ株式会社